

# 和地ひとみレポート No.359

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

9月1か月限定予定。キャッシュレス決済も後押し？



## ■市独自の消費活性化事業

…8月15日号の市報の1面でも大きく取り上げられている市独自の“消費活性化事業”。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の飲食店や小売店等を応援するために市が行うキャンペーンです。

…この事業は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内の対象となる店舗＝今回の事業に参加する店舗を利用した際、PayPay（QR決済）で支払いをすると最大30%のポイントが還元されるというもので、このキャンペーン期間中に多くの方に大手チェーン店以外を利用していただくことを狙いとしています。

## ■なぜPayPayのみ？

…昨年10月に消費税が10%になった際に国がおこなったポイント還元事業。これは経済産業省が認定した中小店舗でキャッシュレス決済をすると5%（フランチャイズチェーン参加の中小・小規模店舗等では2%）を還元するキャンペーンで今年の6月まで実施されていました。このキャンペーンに後押しをされる形で手軽にキャッシュレス決済ができるQR決済やバーコード決済が広く普及しています。

…このQR決済やバーコード決済とはお店のレジにある専用QRコードをスマートフォンのカメラで読み取って支払ったり、支払う人が自分のスマートフォンに表示したQRコードやバーコードを店側がバーコードリーダーやカメラなどで読み取ったりして決済（支払）するもの。今ではPayPayのほか、携帯電話会社関連のd払い、au PAY、またインターネットショップ関連の楽天ペイ、メルペイ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス関連のLINE PAYなど多くの企業がQR決済サービスを提供しています。

…今回の市独自のキャンペーンも、このQR決済を対象としています。このキャンペーンで使えるのはPayPayのみ。その理由について市は「PayPayのみがほかの事業から派生したQR決済ではなく、QR決済サービスを専門にしている企業だから」ということと、今回のキャンペーンを機に市内の飲食店や小売店に新たにQR決済サービスを導入してもらうことを考えると「決済システム利用料が2021年9月30日まで無料となっているPayPayなら導入する店舗の負担もない」と説明しています。

…実際、現時点では市内の飲食店や小売店舗でのQR決済サービスの導入率は低いため、今回のキャンペーンの実施にあたり市の商工会が会員店舗にPayPayの導入の呼びかけを行うだけでなく、PayPayの社員も市内の対象となる店舗でまだPayPayを導入していない店舗を回って説明をするなどしてキャンペーンの参加店舗を増やす活動をしているとのこと。

## ■キャンペーンの注意点は

…では、今回のキャンペーンでポイント還元を受けるためには対象店舗を利用し、PayPayでQR決済（＝支払）をすればよいのでしょうか。市報を見ても特にそれ以上の注意書きはありません。

…しかし、実際には“PayPay残高でのお支払い”という条件が。このPayPayには、持っているクレジットカードを登録することで、QR決済の際に登録したクレジットカードでの支払いにする設定と、PayPayに一定の金額をチャージしておき、QR決済の際にその残高から支払う方法とがあります。よって、PayPayを利用している人でもチャージをせずにクレジットカード決済のみで利用している場合は、基本的には今回のキャンペーンの対象とはなりません。“基本的”としたのは、ヤフーカードを登録して利用している人は対象になるということからで、それ以外のクレジットカードの登録の場合は対象外ということです。

…このような細かいことは市報では触れられていないので、混乱が起これなければよいと思っていますが、実際の対象店舗に掲示されるポスターにはその点も書かれているのでぜひ注意していただきたいと思えます。

…また、今回のキャンペーンでは市指定のゴミ袋、切手、はがき、商品券などの購入などは対象外となるので、この点も注意が必要です。

## ■予算は？最大いくら還元されるのか？

…今回のキャンペーンの予算は冒頭でも触れたように新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としています。具体的には先日開かれた東大和市議会臨時会で可決された令和2年度一般会計補正予算（第4号）に含まれており、その予算規模は6,000万円。そのうちポイント還元を活用するのは5,400万円（＝5,400万ポイント）となっています。

…今回のキャンペーンでは最大30%のポイントが還元とされていますが

◇1 決済あたり最大 3,000 円相当まで

◇キャンペーン期間中最大 10,000 円相当まで

となっています。

…まず“1 決済あたり 3,000 円相当”という点については、30%の還元なので、1 決済のうち1 万円までということ。仮に1 回の決済額が1 万円を超えても1 決済あたりの最大 3,000 円分しか還元されないということです。

…また、“キャンペーン期間中最大 10,000 円相当”という点は一人当たりの最大還元額を示したもの。

（裏面に続く）

よって、この2つの条件に対し、キャンペーン期間中に効率良く(?)、最大の還元を受けるには

・QR決済で1万円の支払いを3回⇒9,000円相当

・QR決済で3,333円の支払いを1回⇒999円相当

を行うことで、9,999円の還元を受けることができるということになります。

…また、もしキャンペーンを利用する方が全員最大の還元額である1万円の還元を受けた場合、9月の1か月限定のこのキャンペーンの特典を享受できるのは約5,400人ということに計算上はなります。

…ちなみに“〇〇円相当”と表示されているのは、還元されるのは、1ポイント=1円のPayPayポイントでの還元だから。すなわち、前述のPayPayにチャージした残高に加算されるという方法で還元される形です。

## ■なぜ1か月限定

…国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業は各自治体で行われており、その内容は様々ですが、今回の東大和市のポイント還元キャンペーンと同じような事業は近隣市でも実施しています。

例えば、武蔵村山市はプレミアム商品券の販売を9月、10月の2か月間限定で行うという方法をとっています。

…地元の店舗を応援するためのこのような事業ですが、東大和市では、“9月だけの1か月間”という短い期間限定のキャンペーンとしています。

…その理由について市は「同じようなキャンペーンを3か月間実施する自治体があることも知っているが、そうすると“まだ期間があるから”と考えて、キャンペーンを利用しないまま終わってしまう人も出てくると思う。一方、“1か月限定”にすることで、今月中に利用しなければと意識してもらえというメリットがある考え、東大和市では1か月限定とした」と説明しています。

…また、9月中のキャンペーン終了後、今回の還元に充てる予算5,400万円が一定程度余った場合は、再度、同様のキャンペーンを実施する考えも市は持っているようです。一方、還元する予算には限りがあるので、このキャンペーンが好評で9月末日を待たずに予算を使い切ってしまうと、そこでこのキャンペーンも終了になるということだと思います。

## ■ほかの効果にも期待

…欲を言えばこの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は東大和市に交付されたものなので全額市民のために活用したいところですが、今回のキャンペーン対象店舗を利用し、PayPayで決済をするのは東大和市民だけとは限らない場合、予算の5,400万円分すべてが東大和市民に還元されるとは言い切れないのではないかと思います。(市民と判別する方法はないと思うので)しかし、今回の事業の目的は“地元の店舗を応援すること”なので、その点では、この5,400万円分のポイント還元で市内の店舗が1億8,000万円の売上をあげる後押しができるほか、このキャンペーンをきっかけに地元の店舗を利用し、そのお店を知るきっかけになる可能性もあると考えれば事業の目的は果たせるのではないかと思います。

…今回のキャンペーンの利用はスマートフォンを持っていることが前提となり、高齢者に不利な感じは否めませんが、外国人観光客(インバウンド)への対応や、人手不足への対応のためなど国が進めているキャッシュレス化の推進には対応できているとも言えます。キャッシュレスのメリットは消費者側、店舗側だけでなく防犯の面でも大いにありますが、このコロナ禍においては、接触を避ける、短時間で支払いを終えられ対面時間が削減できるなど、今まで以上のメリットも出てきています。このキャンペーンを多くの“東大和市民”の方に利用してもらえればと思います。

## 令和2年度 一般会計補正予算(第5号)を専決処分

### PCRセンターを1日でも早く設置するために

…8月14日(金)に、令和2年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分を市が予定している旨の連絡が入りました。基本的に補正予算は議会での議決を得なければならないのですが、一定の要件に該当する場合に限り、市長は議会に代わってその権限を行使できる仕組みが“専決処分”です。今回の補正予算の概要は以下の通りですが、今回、補正が生じた理由は「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、かかりつけ医が必要と判断した場合に、市民が迅速にPCR検査を受けることができる体制を整えるためにPCRセンターを設置する」ためです。



#### ◆歳入歳出補正予算額:1,222万円の増額

#### 【PCRセンターの概要】

- ◆設置期間等:令和2年9月16日(予定)~令和3年3月31日までの間。週に2日(13:30~15:30)を予定。
- ◆設置場所:予約制のため一般には非公表。
- ◆運営:東大和市医師会 ◆対象者:かかりつけ医がPCR検査を受ける必要があると判断した市民。
- ◆検査数:1日当たり6件程度を予定(状況により増やすことを検討)

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

### 【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102